

# — ここが聞きたい — 市政を問う

## 一般質問

～ 18人が質問しました～

### 当面の懸案事項 学校教育、生涯教育



日本共産党  
高橋 憲二 議員

**問** ①県議会建設委員会の碧海5市調査は、鉄道高架の県・市負担割合改善の絶好の機会。なぜ提案しなかったか。②市長は1千150万円の退職金掛金（税金）を支出したが、退職金ゼロの公約は実現困難だ。有権者を裏切るのか。③猿渡川は氾濫河川で早期改修が急務。堤防の公園化も。

**答** ①建設委員会調査で、負担割合改善提案はなじまない。②退職手当組合に市長退職金ゼロを働きかけているが実現していない。今後も努力する。③河床の掘削を県に強く要望。

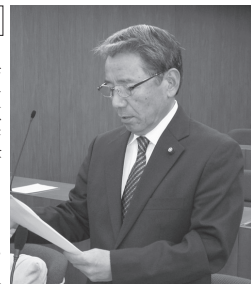
**問** ①老朽化が進む市内小中学校の整備計画策定を急げ。②教室暖房を石油ストーブからガスファンヒーターに。③トイレ洋式化、悪臭対策を。④特別教室にも扇風機設置を。⑤昭和グラウンドのトイレを増設、管理棟トイレの改善を。



昭和グラウンドトイレ

**答** ①24年度で約1千万円予算化し外部委託で策定する。②ストーブの実態を把握し、ガスファンヒーター化を検討。③洋式トイレ未設置7か所を24年度で整備。悪臭トイレは知小、南小など7校ある。整備計画を策定し優先的に対応。④24年度で少人数対応16教室に扇風機を設置する。⑤屋外トイレの増設か、管理棟の改修でトイレ増設を検討。

### 保険健康事業 当面する諸問題



一意の会  
安江 清美 議員

**問** 特定健診による、検査や問診結果により、生活習慣病などのリスク要因の数や年齢等を総合して、生活改善に必要レベルが判定され、情報提供・動機付け支援・積極的支援が行われるが、これらに対するの積極的対策は。

**答** 先進的な事業を参考にしながら、取り組み方の検討をする。

**問** 小中一貫教育のメリットの一つに挙げられている中一ギャップ解消について、知立市の現在の状況は。

**答** 中一ギャップを防ぐため小中で連携を図っている。

**問** 直轄事業負担金の制度改正により、鉄道高架事業の県・市負担割合の影響は。また、県議会での建設部長の発言から読み取れるところは。鉄道高架事業に対し、ひたすら待つという姿勢・体制でよいのか。

**答** 県は昭和48年度から1対1で実施。国の直轄工事の地方負担が廃止されれば、県・市負担割合も見直される。

**問** ボランティアグループによるにぎわいのあるまちづくりへの取り組みはどうか。

**答** 軽トラ市・内藤魯一展等、市民の力に負うところ大である。



知立中学校